

視点・論点

3・1朝鮮独立運動八九周年 今こそ日朝正常化を！日韓民衆連帯集会へ 渡辺健樹

一九一九年、日本の植民地支配からの解放・独立を求めて朝鮮半島全土で人々が立ち上がった「3・1独立運動」から間もなく八九周年を迎えます。

私たちは他の団体・個人と共同して、この記念日である三月一日(土)夜、韓国ゲストを迎え、表題の集会の開催を準備しています。

停戦＝準戦時状態に終止符を

昨年、朝鮮半島では歴史的転換ともいべき大きな動きがありました。イラク侵略戦争が泥沼に陥り、中間選挙で敗北した米ブッシュ政権は、それまで拒絶し続けていた米朝二国間協議に転じざるを得なくなりました。

昨年一月のベルリンでの米朝二国間協議の開催により、核実験などで極度の緊張状態に陥った局面は転換し、六カ国協議の二月合意、続く一〇月の合意、そして南北首脳会談の実現へと大きく前進しました。今や、半世紀以上にも及ぶ、「撃ち方止め」に過ぎない停戦＝準戦時状態に終止符を打ち、平和協定の締結、米朝国交正常化、南北の和解と平和・統一の道へ大きく展望が開かれたといえるでしょう。これらは、何よりも朝鮮半島の平和と統一を求めて苦難の道のりを歩み続けてきた朝鮮半島の民衆がかちとった新たな成果です。

もちろん、まだ前途に曲折も予想されます。また米国はこれらのプロセスの進行の中でも、あくまで駐韓米軍を存続させようとする画策するでしょう。

私たちは、六カ国協議の共同声明と二つの合意を各国政府が履行するよう引き続き監視と要求を強め、東北アジアの非核化とあくまで駐韓米軍の撤退、沖縄・日本、韓国からの米軍撤退を要求していく必要があります。

日本政府は北朝鮮敵視政策を転換せよ

しかし、朝鮮半島でこつした和解と平和への新たな動きが進展する中で、ひとり日本政府のみがこの動きに水を差し、相も変らぬ北朝鮮敵視政策を固持し続けています。

安倍政権の突如辞任を受けて誕生した福田政権も、自民党総裁選挙での「対話重視」の姿勢とは裏腹に、真つ先に北朝鮮制裁の延長を決め、在日コリアン

への人権侵害に対処しようともしていません。加えて初の訪米では、ブッシュ政権に「テロ支援国」指定の解除をしないよう懇願さえしています。

日本人拉致事件を政治利用した日本政府の姿勢は、過去の清算をあいまいにし、拉致問題の速やかな解決にとつても障害となっていることはもはや明らかではないでしょうか。むしろ日本軍「慰安婦」への謝罪と補償を求める声が、韓国・朝鮮、中国をはじめアジア諸国だけではなく、今や米国、オランダ、カナダの国会決議、欧州議会の決議などへと広がり、日本政府に対する国際的包囲網を形成しています。

私たちは日本政府に対して、何よりも過去の加害の歴史を清算し、日朝国交正常化の速やかな実現を強く要求します。拉致問題もこの過程を通じ、一〇〇年余に及び日本と朝鮮半島の不幸な歴史の清算の一環として速やかに解決すべきではないでしょうか。

3・1集会は、これらの動きを踏まえ、朝鮮半島の平和と統一を支持し、日朝正常化実現の声を日本市民・民衆の側から挙げ広げ、韓国のイ・ミョンバク新政権との新たな闘いに向かう韓国民衆運動との連帯強化を柱として開催します。多くの皆様の参加・賛同を呼びかけます。

(わたなべ・けんじゅ／日韓民衆連帯全国ネットワーク)

3・1朝鮮独立運動八九周年 今こそ日朝正常化を！日韓民衆連帯集会

平和と統一に向かう朝鮮半島と私たち

「日時」 三月一日(土) 午後六時三〇分開会(午後六時開場)

「場所」 文京シビックセンター(地下鉄・後楽園、春日駅下車すぐ)

「内容」 韓国ゲストの講演/日本側の講演/特別報告・歌など準備中

賛同団体・個人を募集します(団体三千元/個人千円)

氏名公表の可否及び「3・1集会賛同」と明記の上、左記へ

郵便振替：001108 140618 / 日韓民衆連帯全国ネットワーク